

2019年3月期

# 第1四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2018年7月31日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

\*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

The logo for Ushio Group, consisting of the word "USHIO" in a bold, white, sans-serif font, positioned on a solid green background.

■ 2019年3月期第1四半期は**減収減益決算**

期初想定に対し概ね予定通り推移、営業利益率は改善傾向

■ 通期の業績予想は**変更なし**

期初想定の市場環境等から大きな変化なし

■ 映像装置<sub>(クリスティ)</sub>における収益構造改革は**計画通り進行中**

1Q末時点： 不採算事業の整理は一部完了、中国生産移管は計画通り進行中  
=> 人員削減計画の約4割完了

2Q以降： 残りの不採算事業の整理・売却実施（12月完了予定）  
中国への生産移管（10月完了予定）

※収益構造改革の業績への貢献は、2Q以降徐々に拡大の見込み

- I. 第1四半期業績概況
- II. 今後の見通し
- III. 参考資料

# 決算発表のポイント

売上高は前年同期比4.2%減の399億円  
営業利益は前年同期比9.7%減の25億円となり**減収減益決算**

通期公表値に対する進捗率：売上高22.2%、営業利益20.3%

**売上高** : 399億円（前年同期比▲17億円、4.2%減）

半導体・電子部品及びFPD関連市場は堅調に推移も、円高による為替影響に加え、前年同期は特定案件による売上計上があったため減収

**営業利益** : 25億円（前年同期比▲2億円、9.7%減）

減収により減益も、直前四半期に対し利益率は改善傾向（FY17\_4Q：3.6%→FY18\_1Q：6.4%）

親会社株主に帰属する

**四半期純利益** : 22億円（前年同期比▲42億円、65.6%減）

前年同期は、特別利益「厚生年金基金代行返上益（60億円）」を計上

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

※為替平均レート（FY18）：1USDドル=108円

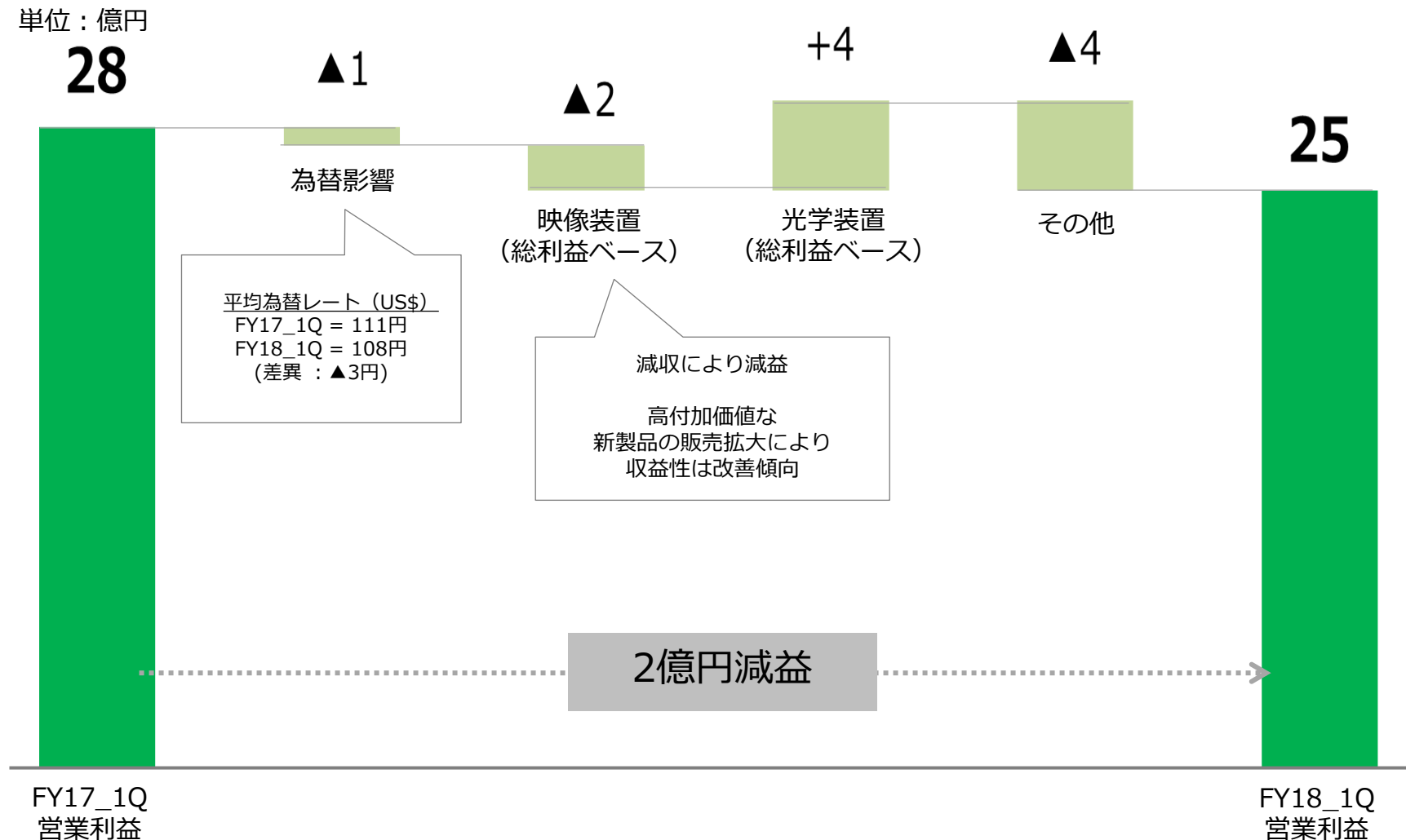
	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

# 売上高・損益

単位：億円		FY17 1Q	FY18 1Q	前年同期比	
				増減	%
売上高		417	399	▲17	▲4.2
営業利益		28	25	▲2	▲9.7
営業利益率(%)		6.7	6.4	▲0.4P	-
経常利益		39	39	+0	+0.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益		65	22	▲42	▲65.6
EPS (円)		51.32	17.67	▲33.65	▲65.6
為替レート (円)	USD	111	108	▲3	-
	EUR	122	130	+8	-

# 前年同期比 営業利益増減分析

単位：億円



注：「映像装置（総利益ベース）」、「光学装置（総利益ベース）」、「その他」 は「為替影響」を除いた金額。

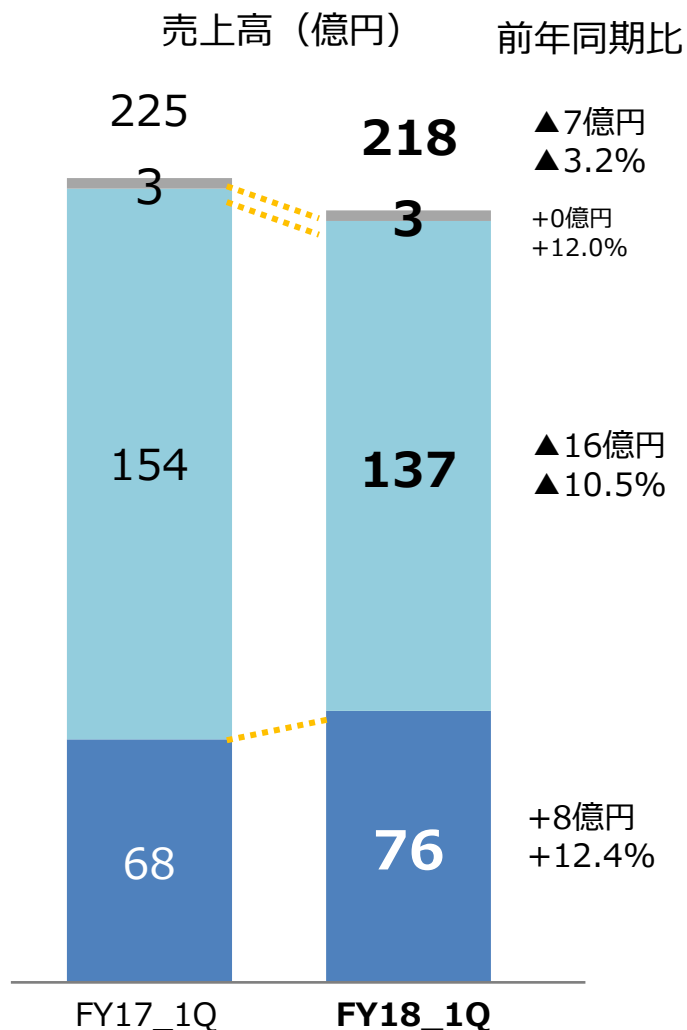
# セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

単位：億円		FY17 1Q	FY18 1Q	前年同期比	
				増減	%
装置事業	売上高	225	218	▲7	▲3.2
	営業利益	0	0	▲0	▲74.9
	営業利益率 (%)	0.2	0.0	▲0.1P	-
光源事業	売上高	182	173	▲9	▲5.3
	営業利益	26	25	▲0	▲2.8
	営業利益率 (%)	14.4	14.8	+0.4P	-
その他	売上高	8	7	▲0	▲8.1
	営業利益	0	0	▲0	▲63.0
	営業利益率 (%)	7.6	3.0	▲4.5P	-
全社・消去	営業利益	0	▲0	▲1	▲170.6

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

# セグメント別 概況 (1)

## ■ 装置事業



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

## 1Q概況

### 映像装置

#### シネマ +0%

- ・映画館の新設数減少に伴い、ランプタイプのプロジェクターの販売台数は減少も、新規投入のRGBレーザープロジェクターは増加

#### 一般映像 ▲18%

- ・円高による為替影響
- ・前年同期にソリューション案件の売上計上あり

### 光学装置

#### UV装置 +8%

- ・一部スマートフォンの減産による影響があるものの、前年同期比でプリント基板向けやM-SAP向け直描式露光装置の販売が増加
- ・電子デバイス向け投影露光装置は堅調に推移

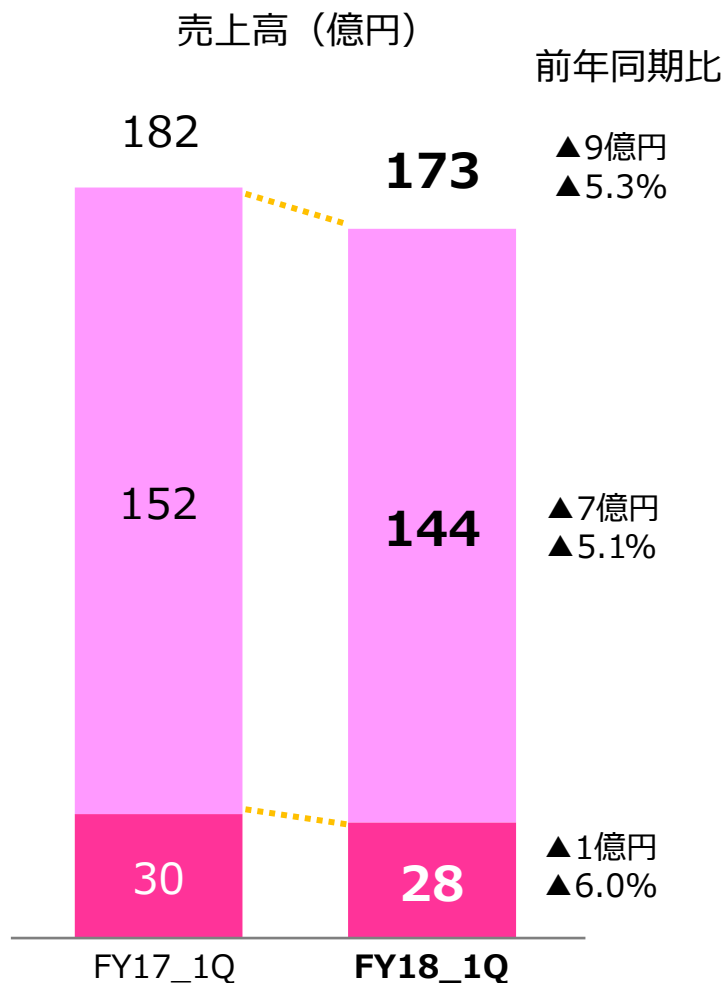
#### キュア装置 +39%

- ・液晶パネルの大型化による液晶関連装置の販売が増加



# セグメント別 概況（2）

## 光源事業



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

## 1Q概況

### 放電ランプ

#### UVランプ ▲1%

- ・OLED搭載の一部スマートフォン減産や円高による為替影響があったものの、半導体・電子部品及びFPD関連市場は設備投資・稼働率ともに高水準維持

#### シネマ用ランプ ▲5%

- ・円高による為替影響
- ・中国における固体光源化の拡大によりリプレイスランプ需要が減少

#### データプロジェクター用ランプ ▲15%

- ・前年同期に特定ユーザーの新製品に当社ランプが採用され販売拡大したものが減少

### ハロゲンランプ

#### OA用ランプ ▲6%

- ・円高による為替影響などがあったものの、高付加価値である環境対応製品の比率は増加傾向

- 
- I. 第1四半期業績概況
  - II. 今後の見通し
  - III. 参考資料

# 通期公表値

## 通期公表値は変更なし

営業利益（進捗率20.3%）は、映像装置の構造改革を計画通り進めることで通期公表値達成を目指す

単位：億円		FY18 1Q	通期 公表値	進捗率 (%)
売上高		399	1,800	22.2
営業利益		25	125	20.3
営業利益率 (%)		6.4	6.9	-
経常利益		39	140	28.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益		22	115	19.6
EPS (円)		17.67	90.01	19.6
為替レート (円)	USD	108	105	-
	EUR	130	125	-

# サブセグメント別 売上高計画

## 期初想定の市場環境から大きな変化なし

単位：億円		FY18 通期計画	FY18 1Q	進捗率 (%)	2Q以降（コメント）	
売上高	装置事業	映像装置	600	137	23.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>DCPIは、年末商戦に向け販売増加見込み。</li> <li>新規RGBレーザープロジェクターは拡大。</li> <li>収益構造改革実行により業績貢献度拡大。</li> </ul>
		光学装置	375	76	20.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場環境は好調を維持され、装置販売台数は増加見込み。</li> <li>18年発売予定の次期スマートフォン販売動向に注視。</li> </ul>
		照明装置他	15	3	25.9	
		小計	990	218	22.1	
	光源事業	放電ランプ	645	144	22.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>UVランプ OLEDパネル減産による影響継続が懸念されるも、市場環境は好調を維持される見込み。</li> <li>シネマ用ランプ 中国における固体光源化の影響継続が懸念されるものの、その拡大傾向に一服感あり。</li> </ul>
		ハロゲンランプ	125	28	23.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>高付加価値製品の販売割合は増加見込み。</li> </ul>
		小計	770	173	22.5	
	その他	産業機械他	40	7	19.8	
	合計		1,800	399	22.2	

- 
- I. 第1四半期業績概況
  - II. 今後の見通し
  - III. 参考資料

## 参考：四半期推移《損益》

単位：億円	FY17				FY18	FY18 1Q	-	FY17 1Q	FY18 1Q	-	FY17 4Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減		%	増減	%	
売上高	417	434	445	436	399	▲17		▲4.2	▲37	▲8.6	
営業利益	28	28	29	15	25	▲2		▲9.7	+9	+62.3	
営業利益 (%)	6.7	6.5	6.6	3.6	6.4	▲0.4P		-	+2.8P	-	
経常利益	39	30	37	12	39	+0		+0.5	+27	+221.6	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	65	17	2	24	22	▲42		▲65.6	▲2	▲9.6	
EPS (円)	51.32	13.62	1.63	19.55	17.67	▲33.65		▲65.6	▲1.88	▲9.6	
為替レート (円)											
USD	111	111	113	110	108	▲3		-	▲2	-	
EUR	122	130	132	134	130	+8		-	▲4	-	

## 参考：四半期推移《セグメント別》

単位：億円	FY17				FY18	FY18	FY17	FY18	FY17
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1Q - 1Q	1Q - 1Q	1Q - 4Q	4Q
						増減	%	増減	%
<b>装置事業</b>									
売上高	225	241	261	247	218	▲7	▲3.2	▲29	▲11.9
営業利益	0	▲0	4	▲9	0	▲0	▲74.9	+9	+100.9
営業利益率 (%)	0.2	▲0.1	1.6	▲3.7	0.0	▲0.1P	-	+3.8P	-
<b>光源事業</b>									
売上高	182	186	178	176	173	▲9	▲5.3	▲3	▲1.8
営業利益	26	28	24	24	25	▲0	▲2.8	+1	+5.6
営業利益率 (%)	14.4	15.3	14.0	13.8	14.8	+0.4P	-	+1.0P	-
<b>その他</b>									
売上高	8	6	6	12	7	▲0	▲8.1	▲4	▲38.3
営業利益	0	0	0	0	0	▲0	▲63.0	+0	+151.7
営業利益率 (%)	7.6	3.2	5.4	0.7	3.0	▲4.5P	-	+2.3P	-

## 参考：四半期推移《営業外収支》

単位：億円

	FY17				FY18	FY18 1Q - FY17 1Q		FY18 1Q - FY17 4Q	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減	%	増減	%
<b>営業外収益</b>	13	5	13	4	15	+2	+16.3	+10	+218.8
受取利息	2	3	2	4	4	+1	+37.6	▲0	▲2.2
受取配当金	6	0	6	0	6	▲0	▲1.2	+6	-
売買目的有価 証券運用益	1	0	2	▲1	0	▲1	▲79.8	+1	+125.2
特定金銭信託 運用益	0	0	0	▲0	0	▲0	▲83.1	+0	+125.8
その他	1	0	0	2	4	+2	+263.6	+1	+69.0
<b>営業外費用</b>	1	2	4	8	1	▲0	▲40.3	▲6	▲85.7
支払利息	1	1	1	2	0	▲0	▲25.8	▲1	▲63.9
為替差損	0	1	2	4	-	▲0	-	▲4	-
その他	0	0	0	1	0	+0	+61.1	▲0	▲72.6
<b>営業外収支</b>	11	2	8	▲3	14	+2	+26.1	+17	+523.4

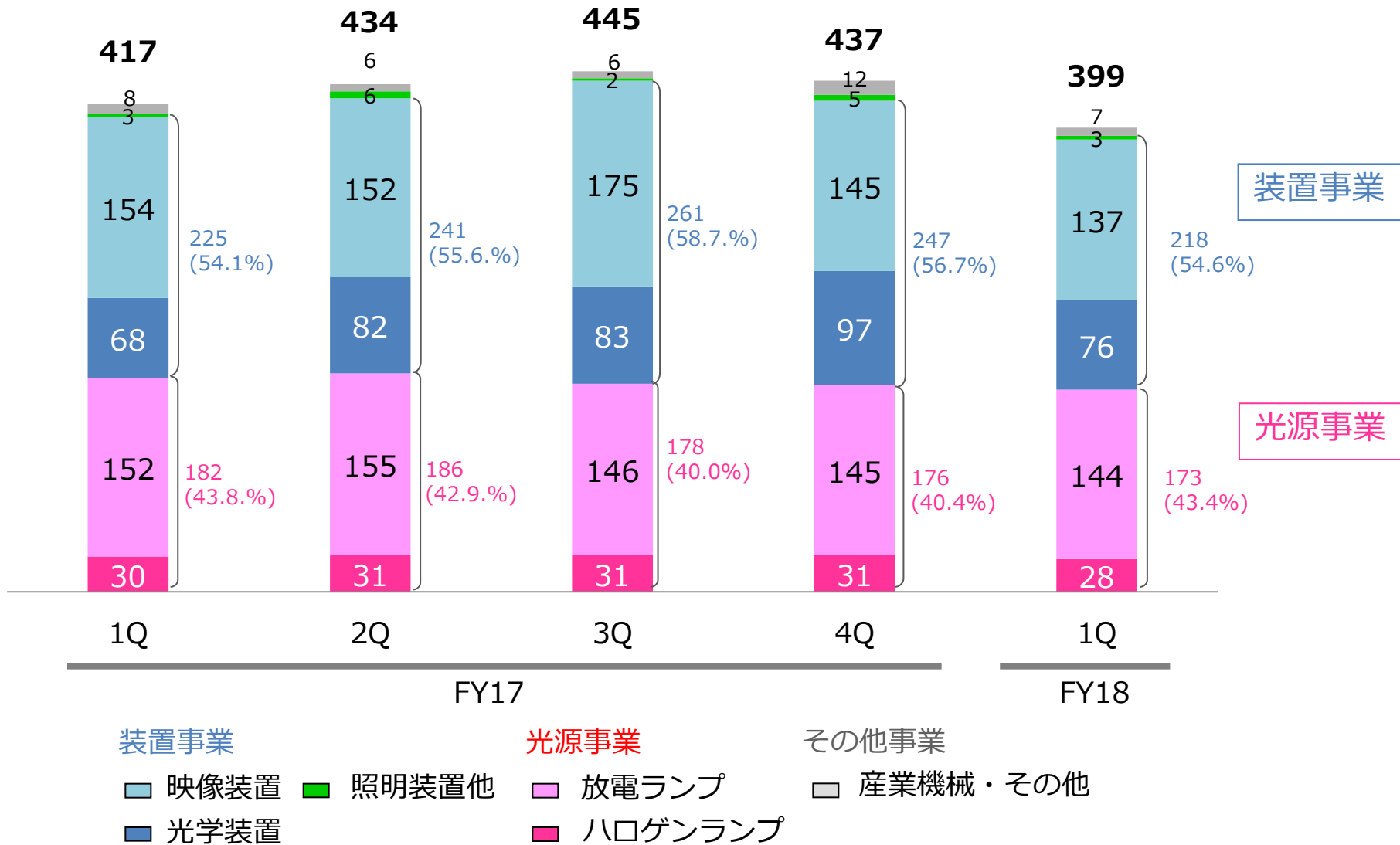


## 参考：四半期推移《特別利益／特別損失》

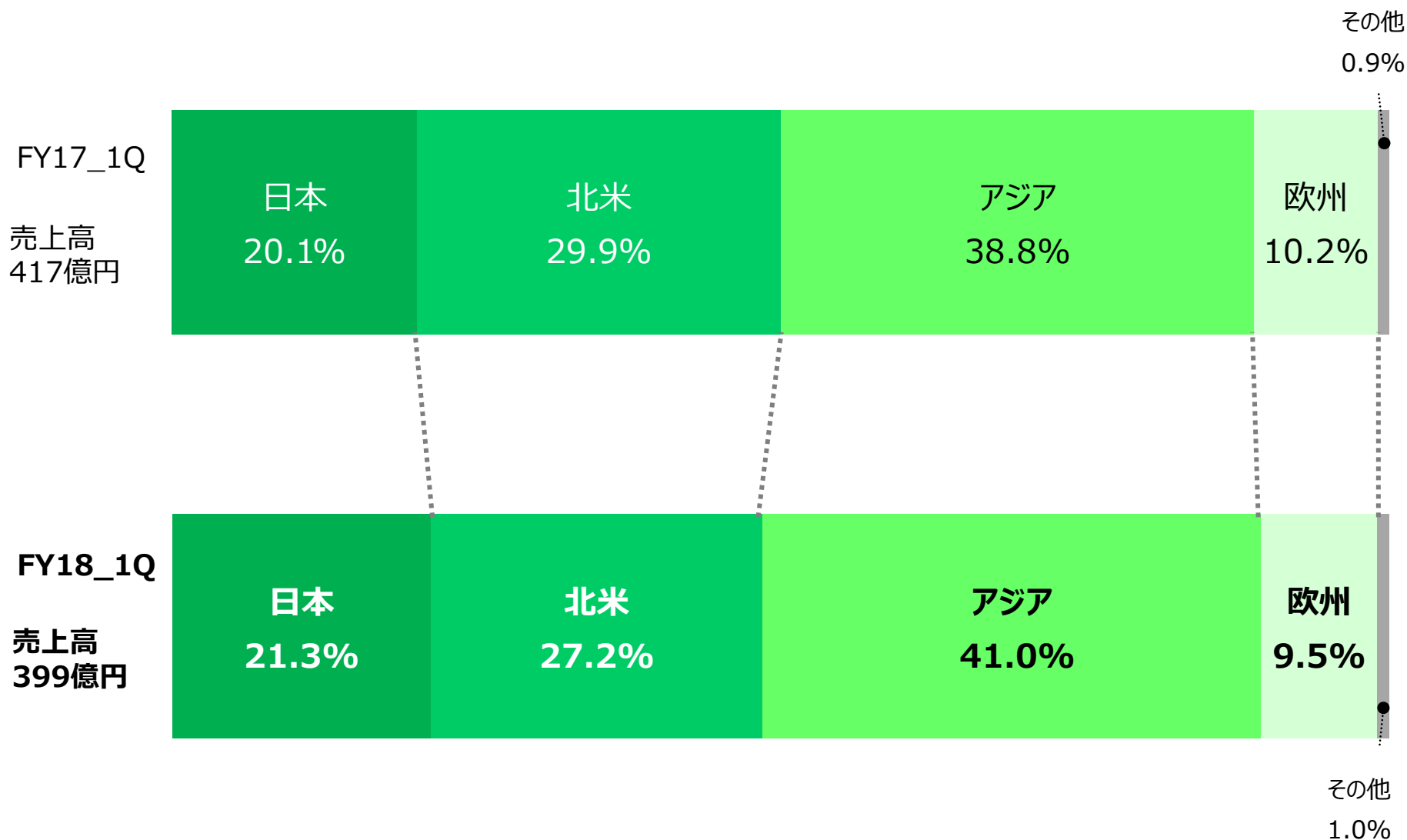
単位：億円	FY17				FY18	FY18 1Q	-	FY17 1Q	FY18 1Q	-	FY17 4Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減		%	増減		%
<b>特別利益</b>	62	0	10	52	0	▲61		▲99.0	▲51		▲98.8
固定資産売却益	1	0	0	2	0	▲0		▲60.5	▲1		▲72.5
投資有価証券売却益	0	▲0	9	49	-	▲0		-	▲49		-
厚生年金基金 代行返上益	60	0	-	-	-	▲60		-	-		-
<b>特別損失</b>	0	7	2	19	7	+7		-	▲12		▲62.1
固定資産除却損	0	1	0	1	0	+0		+546.8	▲0		▲75.6
特別退職金	0	2	1	0	-	▲0		-	▲0		-
退職給付制度改定損	-	-	-	-	0	+0		-	+0		-
事業構造改善費用	-	-	-	-	6	+6		-	+6		-
減損損失	-	1	-	17	-	-		-	▲17		-
関係会社株式売却損	-	1	-	-	-	-		-	-		-
その他	0	0	0	0	0	+0		+56.8	▲0		▲88.9

# 参考：サブセグメント別売上高 《四半期比較》

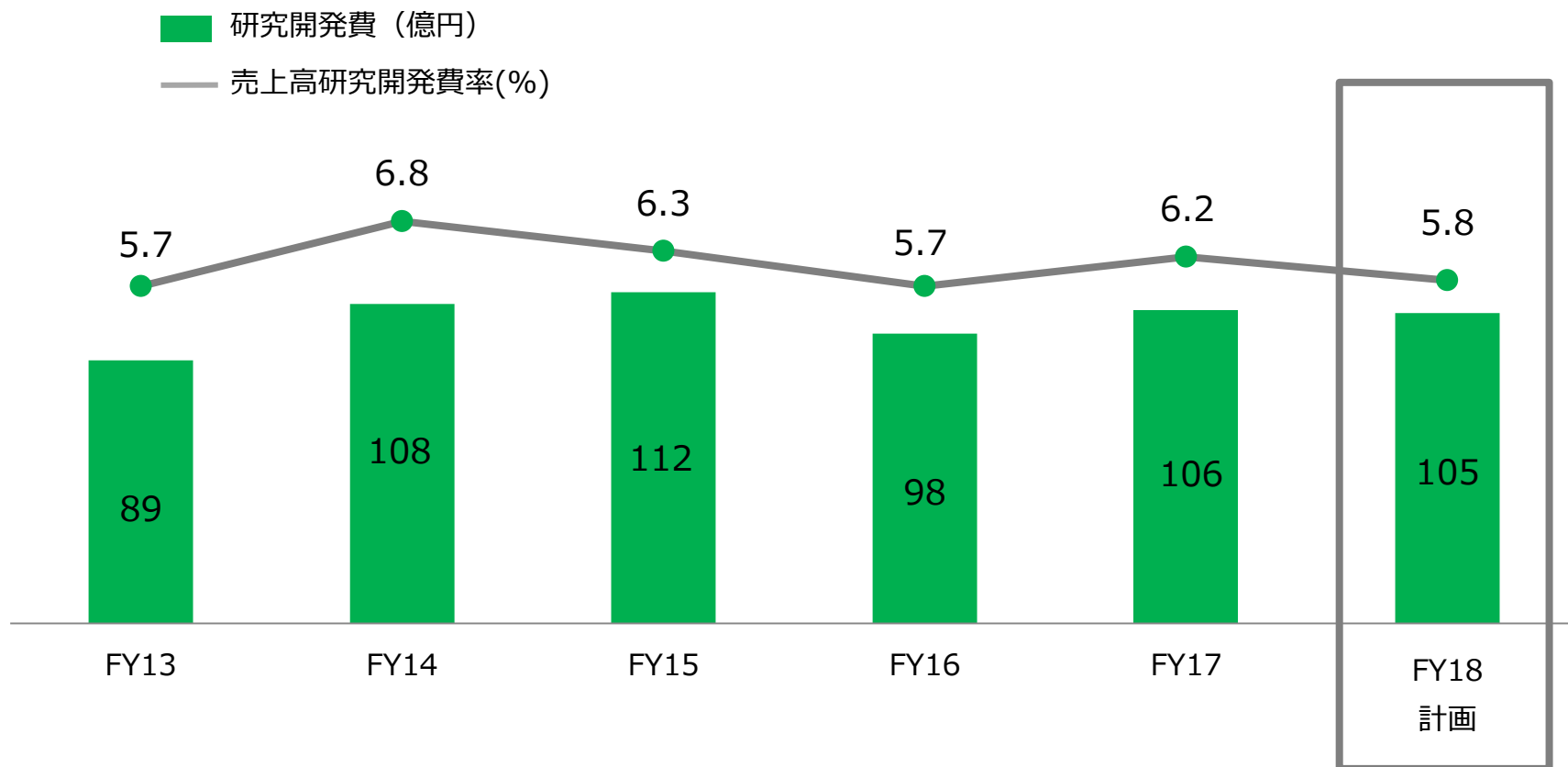
単位：億円



## 参考：地域別売上高比率



# 参考：研究開発費

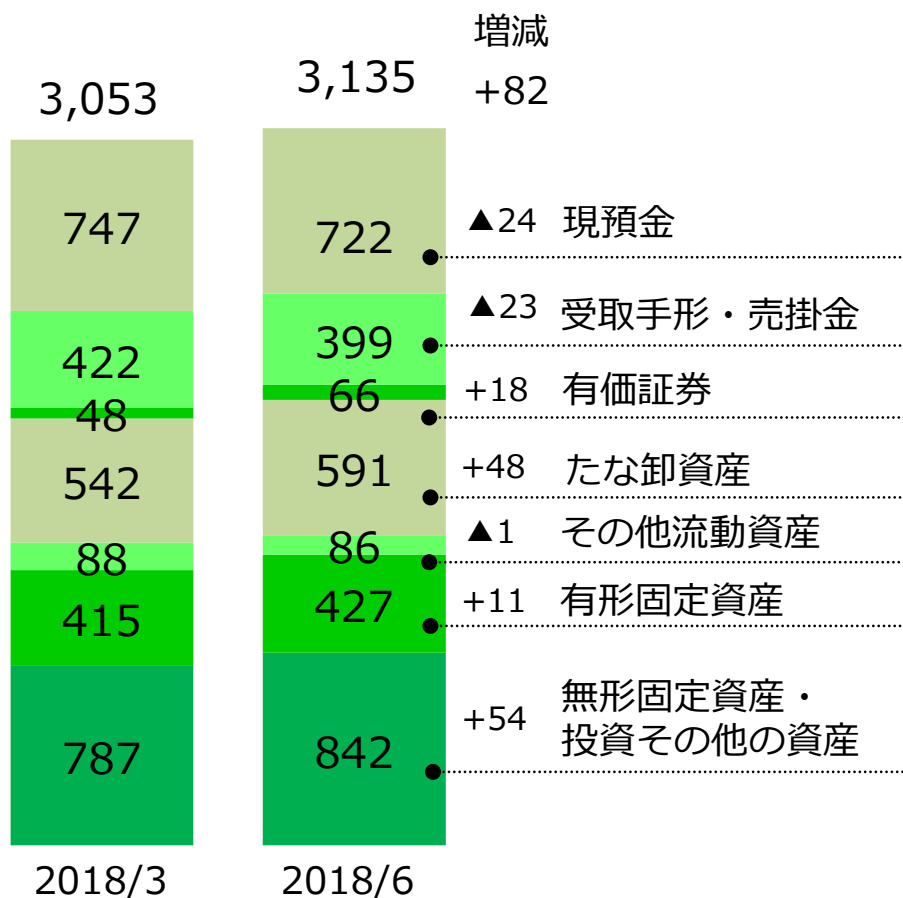


単位：億円

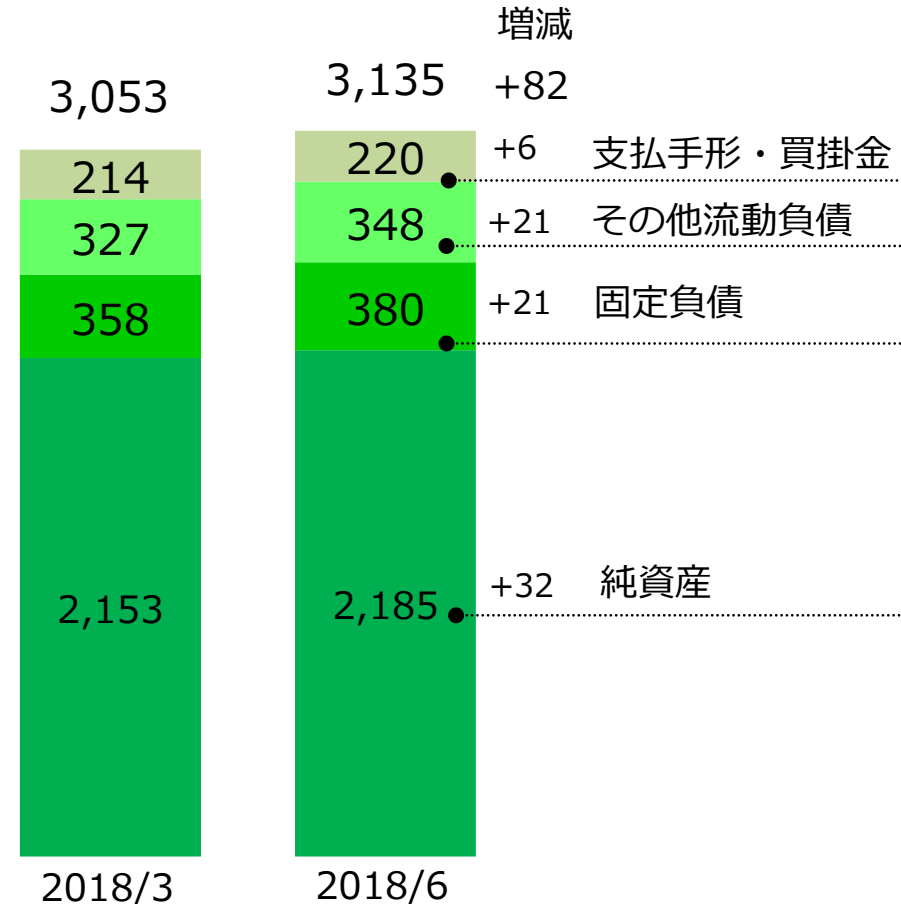
	FY17 1Q	FY18 1Q	前年同期比	
			増減	%
研究開発費	23	25	+1	+6.8
売上高研究開発費率(%)	5.7	6.4	+0.7P	-

# 参考：貸借対照表

## ◆ 資産 (億円)



## ◆ 負債・純資産 (億円)

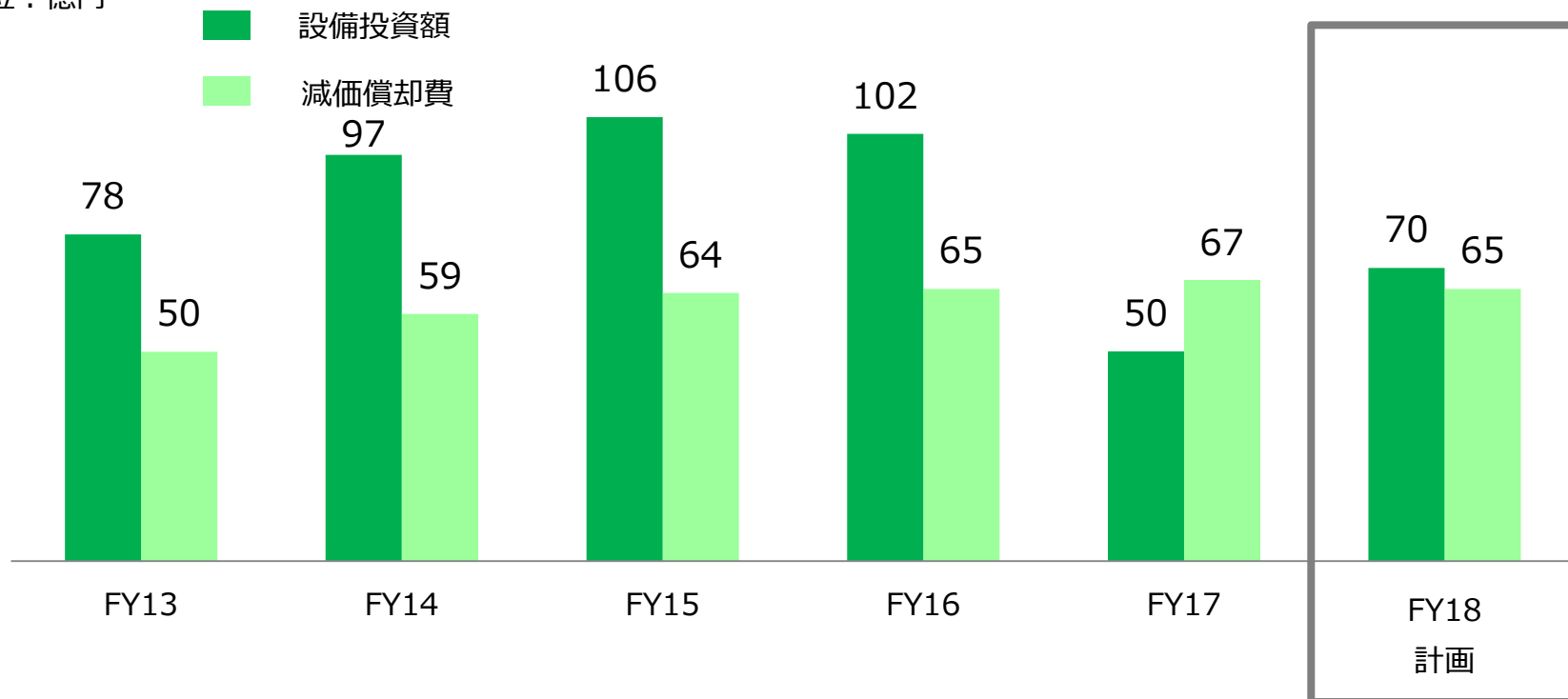


●回転月数 (ヶ月)	2018/3	2018/6
売上債権	2.9	3.1
たな卸資産	3.7	4.3

●自己資本比率 (%)	2018/3	2018/6
	70.4	69.7

# 参考：設備投資額・減価償却費

単位：億円



単位：億円

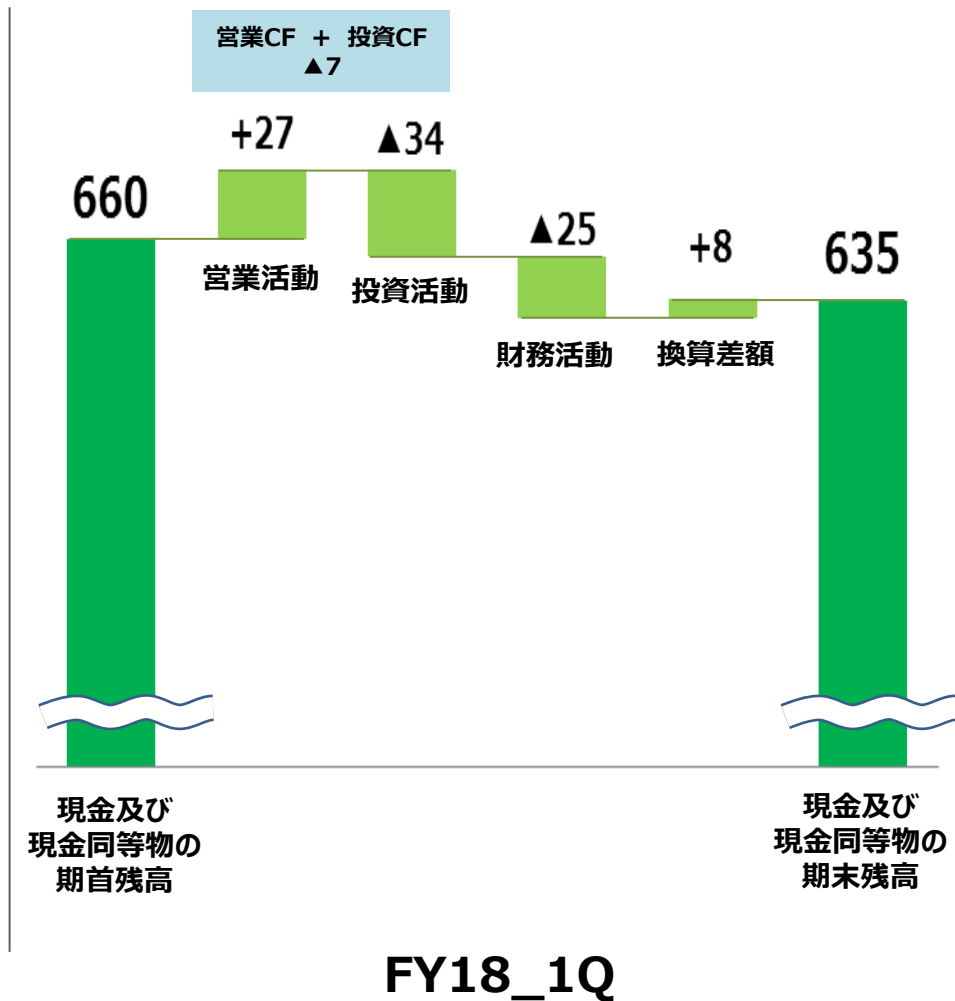
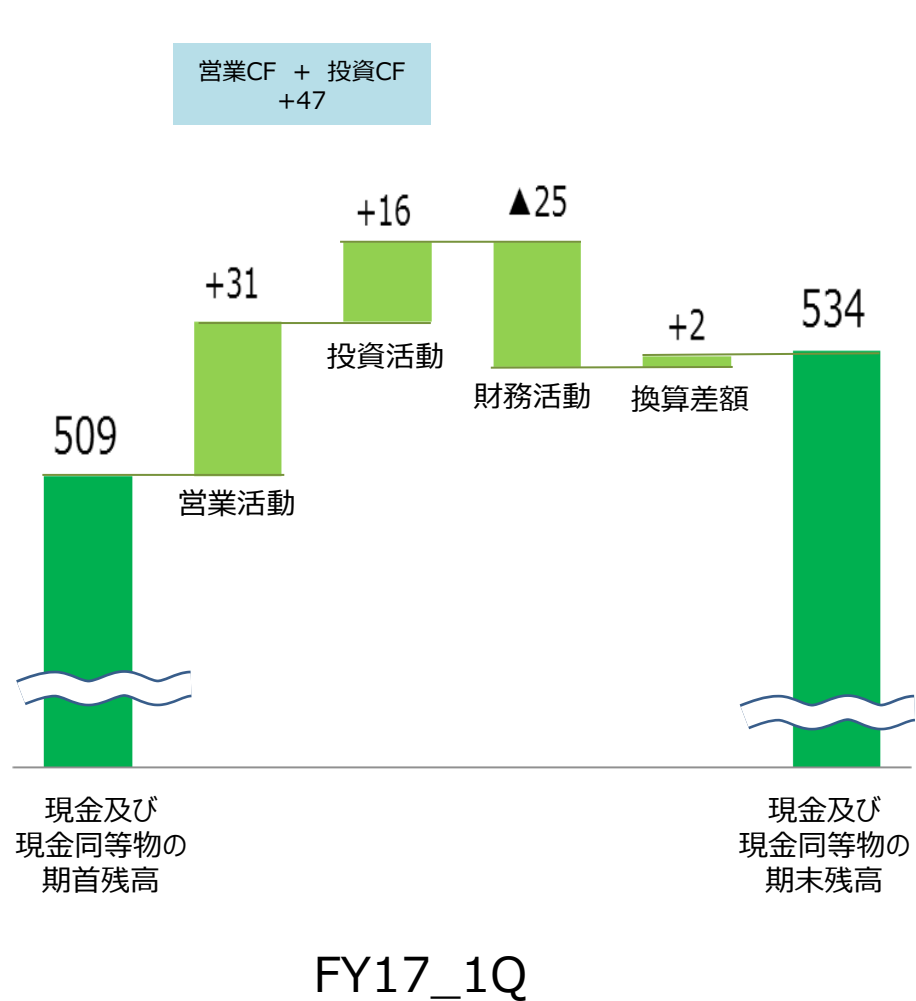
	FY17 1Q	FY18 1Q	前年同期比	
			増減	%
設備投資額	12	21	+8	+64.7
減価償却費	18	16	▲2	▲11.9

注1. 設備投資額は「有形固定資産」+「無形固定資産」。ただし、「のれん」は除く。

注2. 設備投資額に含まれない「のれん」増加額 FY17\_1Q：2億円、FY18\_1Q：4億円

# 参考：キャッシュフロー

単位：億円



# 参考：ウシオグループ プロジェクター光源別特徴

	ランププロジェクター		レーザープロジェクター		
光源	超高圧 UVランプ	クセノン ランプ	蛍光体 レーザー	RGBレーザー (CP-RGBシリーズ)	RGB レーザー
クリスティ ラインナップ	 各種プロジェクター (3LCD/1DLP/3 DLP)	 CPシリーズ Roadie 他	 Crimson シリーズ 2018年4月リリース	 CP4325-RGB * 2018年3月リリース 1. CP2320-RGB 2. CP2315-RGB 3. CP4335-RGB 2018年後半リリース	 ノン ドルビー プロジェクター (CP42LH EWD /6P) ドルビー ビジョン プロジェクター (E3LH)
明るさ (lm)	<30,000	<45,000	<30,000	<23,000 <35,000	<60,000
用途	■一般映像 (オフィス、ホームシア ター、教室、ホール、 イベント会場など)	■シネマ ■一般映像 (ホール、イベント会場 など)	■ノンシネマ ■一般映像 (ホール、イベント会 場など)	■シネマ	■プレミアムシネマ (ドルビーシネマなど) ■一般映像 (産業用VR、テーマパークの アトラクションなど)
本体価格	低	中	中	中-高	高
本体寿命	中**	中-長**	中	長	長
色	△○	○	△	◎	◎

\* 業界初、最軽量・ハイクオリティのRGBレーザープロジェクター

\*\* ランプ交換が必要。 ランププロジェクターの中で、一般映像用の水銀ランプ、シネマ用のクセノンランプは、  
蛍光体レーザープロジェクターよりも寿命が長いことがあります。



## 参考：用語集

---

DCP	Digital Cinema Projector	デジタルシネマプロジェクター
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
M-SAP	Modified Semi Additive Process	エムサップ
OA	Office Automation	オフィスオートメーション
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機EL
RGB	Red Green Blue	赤 緑 青
UV	Ultraviolet	紫外

# USHIO

本資料に関するお問い合わせ先  
ウシオ電機（株）経営企画部  
(03) 5657-1007  
[ir@ushio.co.jp](mailto:ir@ushio.co.jp)  
<http://www.ushio.co.jp/jp/>